

安全データシート (SDS)

作成・改訂日 2013年9月1日

1. 製品及び会社情報

製品名 炭酸マグネシウム「ケンエー」
会社名 健栄製薬株式会社
住所 大阪市中央区伏見町2丁目5番8号
担当部門 学術情報部
電話番号 06(6231)5822
FAX 番号 06(6204)0750
連絡先 健栄製薬株式会社 学術情報部

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

データ不足のため、分類できない

GHS ラベル要素

【絵表示又はシンボル】

該当なし

【注意喚起語】

該当なし

【危険有害性情報】

有害性：長期間大量摂取すると、高マグネシウム血庁二が現れることがあり、ときに下痢等の症状が現れることもあるので注意する。

環境影響：多量の場合、水棲生物に影響を及ぼす恐れあり。

物理的及び化学的危険性：通常の手扱いは危険性は低い。

【救急措置】

吸入した場合：新鮮な空気のある場所に移動させ、安静にし、医師の手当てを受ける。保温して安静に保つ。

皮膚に付着した場合：多量の水および石鹼で洗い流す。症状がでた場合には!必要に応じて医師の診断を受ける。

目に入った場合：清浄な水で最低15分以上洗眼したのち、直ちに眼科医の手当てを受ける。

洗眼の際、まぶたを指でよく開いて、眼球、まぶたのすみずみまで水がいきわたるように洗淨する。

飲み込んだ場合：多量の水又は食塩水を飲ませて吐かせる。医師の手当てを受ける。

3. 組成、成分情報

化学名又は一般名	: 塩基性炭酸マグネシウム
成分及び含量	: MgO として 40.0~44.0%
化学特性（化学式）	: $4\text{MgCO}_3 \cdot \text{Mg}(\text{OH})_2 \cdot 4\text{H}_2\text{O}$
CAS番号	: 39409-82-0
官報公示整理番号	
化審法	: 1-155
安衛法	: -
分類に寄与する不純物及び安定化	: -
添加物	: -

4. 応急措置

吸入した場合	: 新鮮な空気の場所に移動させ、静にし、師の手当てを受ける。保温して安静に保つ。
皮膚に付着した場合	: 多量の水および石鹸で洗い流す。症状がでた場合には、必要に応じて医師の診断を受ける。
眼に入った場合	: 清浄な水で最低 15 分以上洗眼したのち、直ちに眼科医の手当てを受ける。
飲み込んだ場合	: 多量の水又は食塩水を飲ませて吐かせる。医師の手当てを受ける。

5. 災害時の措置

消火剤	: 本品は不燃性であるため、周辺火災に適した消火剤を用いる。
火災時の特有危険有害性	: 火災時に刺激性もしくは有毒なヒューム(またはガス)が発生するため、消火の際には煙を吸い込まないように適切な保護具を着用する。
特有の消火方法	: 周辺火災時、移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。移動不可能な場合には周辺を水噴霧で冷却する。
消火を行う者の保護	: 消火活動は風上から行い、有害なガスの吸入を避ける。状況に応じて呼吸保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	: 屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、粉塵、ガスを吸入しないようにする。風上から作業して、風下の人を退避させる。
環境に対する注意事項	: 漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。環境中に放出してはならない。
回収・中和・封じ込め及び浄化の方法・機材	: 飛散したものを掃き集めて、密閉できる空容器に回収する。こぼした場所は拭き取った後、多量の水で洗い流す。危険でなければ漏れを止める。
二次災害の防止策	: 知見なし。

7. 取扱い及び保管上の注意

【取扱い】

技術的対策	: 特になし
安全取扱い注意事項	: 容器を転倒させ落下させ衝撃を与え又は引きずる等の粗暴な扱いをしない。 漏れ、溢れ、飛散などしないようにし、みだりに粉塵や蒸気が発生させない。 使用後は容器を密閉する。 取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。指定された場所以外では飲食喫煙をしてはならない。 休憩場所では手袋その他汚染した保護具を持ち込んではいない。取扱い場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。

【保管】

技術的対策	: 特になし
保管条件	: 直射日光を避け、換気のよいなるべく涼しい場所に密閉して保管する
混触危険物質	: データなし
容器包装材料	: ポリエチレン

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度	: 設定されていない
許容濃度	
日本産業衛生学会	: (2004年度)第3種粉じんとして: 吸入性粉塵 2mg/m ³ 、総粉塵 8mg/m ³
ACGIH	: 設定されていない
設備対策	: 粉じんが発生する場合は、発生源を密閉し、局所排気装置を設置する。取扱い場所の近くに目の洗浄及び身体洗浄のための設備を設置し、その場所を表示する
保護具	
呼吸器の保護具	: マスクを着用する。(必要に応じて防じんマスクを着用)
手の保護具	: 保護手袋を着用
眼の保護具	: 保護眼鏡、側板付き保護眼鏡(必要に応じてゴーグルを着用)
皮膚及び身体の保護具	: 保護衣、保護長靴

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態、形状、色など	: 粉末又はもろい塊、白色
臭い	: 無臭
pH	: 知見なし
融点・凝固点	: 350℃, 700℃で酸化マグネシウムとなる。
沸点、初留点及び沸騰範囲	: 知見なし
引火点	: 知見なし
爆発範囲	: 知見なし
蒸気圧	: 知見なし
蒸気密度 (空気=1)	: 知見なし
比重 (密度)	: 2.1~2.2/100g
溶解度	: 0.0106/100g (水 20℃)
オクターブ/水分配係数	: 知見なし
自然発火温度	: 知見なし
分解温度	: 知見なし

10. 安定性及び反応性

安定性	: 空気中では、安定である。(水, エタノールにほとんど溶けないが酸類には泡だつて溶ける。但し350℃以上で酸化マグネシウムと炭酸ガスに分解)
危険有害反応可能性	: 知見なし
避けるべき条件	: 日光、熱
混触危険物質	: 知見なし
危険有害な分解生成物	: 炭酸マグネシウム、酸化マグネシウム

11. 有害性情報

急性毒性	: 知見なし
皮膚腐食性・刺激性	: 知見なし
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	: 知見なし

呼吸器感作性又は皮膚感作性	: 知見なし
生殖細胞変異原性	: 知見なし
発がん性	: 知見なし
生殖毒性	: 知見なし
特定標的臓器・全身毒性	
単回暴露	: 知見なし
反復暴露	: 知見なし
吸引性呼吸器有害性	: 知見なし

12. 環境影響情報

生体毒性	: Tm96 : 1000-100ppm
残留性・分解性	: 知見なし
生体蓄積性	: 知見なし
土壤中の移動性	: 知見なし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。上記方法による処理ができない場合は都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業者に委託処理する。
汚染容器・包装	: 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規制

国連分類	: 非該当
国連番号	: 非該当
海洋汚染物質	: 非該当

輸送の特定の安全対策及び条件

: 輸送に際して、直射日光を避け、容器の漏れのないことを確かめ、落下、転倒、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実にを行う。

15. 適用法令

薬事法

16. その他の情報

日本薬局方公定書解説書
化学大事典(共立出版)
化学物質毒性データ総覧(米国国立職業安全衛生研究所編)
食品添加物公定書解説書
指定品目食品添加物便覧

記載内容は現時点で入手できる資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、注意事項は通常の取り扱いを対象としたものであって、特殊な取り扱いの場合は用途、用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。記載内容は情報提供であって保証するものではありません。
